

1991年(平成3年)

7月14日

*年4回発行

*校区全戸配布

事務局・堺市赤坂台2丁5-1(保育園内) ☎ 98-4500



なごやかにお花見

ほのぼのの会独居老人を招待

四月一三日(土曜日)午後 されました。

サクラの花びらが散り始めた
保育園の庭で、「敬老お花見
パーティー」がなごやかに開催

主催はボランティア企画委
員会とボランティア・グルー
プ「赤坂ほのぼの会」。

平素は電話慰問してさしあ
げている独り暮らしのお年寄
りをお招きして、心づくしの
スキヤキを囲みながら、歓談
のひとつときをおくりました。

出席はお年寄り七名はじめ
全部で二五名の盛会。

お年寄りたちは大喜び、今
後も開催してほしい、家族と
同居のお年寄りにも呼びかけ
ては、などの声がありました。

なお、特別参加の堺市社会福
祉協議会の方から金五千元也
の厚志を頂戴しました。

手拝康子さん(ほのぼの会
代表)の話

私たち「ほのぼの会」は、

これをきっかけに家にこもり
がちなお年寄りを戸外に誘っ
て楽しい時を過ごしてもらえ
るように工夫したいと思いま
す。八月の「ふるさと祭り」
には綿菓子屋さんを出し、そ
の売り上げで九月の敬老の日
にも有意義な行事をやりたい
と計画しています。

赤坂ほのぼの会

皆さんの参加をお待ちして
います。左にお電話ください。

◎ほのぼの会代表・手拝康子
さん(九八一五七一九)

◎ボランティア企画委員会代
表・上畑浩三さん(九九一
五四三七)

◎赤坂台校区福祉協議会事務
局(九八一四五〇〇)

着実に前進中です

平成二二年度定例総会

赤坂台校区福祉協議会の平成三年度定例総会は、六月二日(日)午前九時半から一時半まで自治会館で開催。本会を構成する校区内各組織の代表約六〇名が出席、市社会福祉協議会と泉北警察署からもおいでいただきました。

まず為村収二郎会長が、平成二年度の本会の活動を次のように報告しました。「ハロー」好評
「ハロー」を第三号から第六号まで毎回三五〇部を定期発行し校区内全戸に配布、本紙は市社協など校区外からも高い評価をいただいています。

ほのほの会

本会の呼びかけでボランティアグループ「赤坂ほのほの会」が昨年四月に発足、現在会員二一名で、独居老人への電話慰問や在日韓国老人ホーム「故郷の家」への奉仕など活発に活動しています。

子どもカーニバル

昨年一〇月二二日に第四回



(挨拶する為村会長)

を開催し六〇〇名参加、警察署や消防署にも協力いただいた。今年は一〇月二〇日の予定です。

市の助成金五〇万円で購入したコピー機を、各団体の利用に供することになりました。

交流会

六月定例総会および新年交礼会の際に本会構成各団体間の情報・意見交換を行いました。校区内相互理解の貴重な機会となっています。

総会は、以上の報告ならびに平成二年度決算、三年度活動方針・予算をそれぞれ承認し、左のとおり役員を改選しました。

会長	為村収二郎(五丁二二一三)	再任
副会長	海野 正孝(五丁三五五六)	新任
兼事務局長	佐藤 祐弘(二丁五一一)	再任
理事	毛利 敏彦(三丁七一一)	再任
辻林 茂(六丁一四・二二一〇二)	再任	
早川 泰史(六丁二五一一)	再任	
山内しげ子(六丁一四・五一〇五)	再任	
渡辺あやめ(五丁三五一九)	新任	
足立 成男(郵便局長)	再任	
桜井 照美(小学校長)	再任	
乾 幸雄(アペティート)	再任	

連合自治会のページ

平成三年慶を迎えて

四月七日(日)に、平成三年度赤坂台校区連合自治会総会が開催されました。

この席上、五年間にわたり

連合自治会会長の重任を務められた、中辻雅郎氏は、任期満了につき退任されました。

又、小林 功副会長、山川

仁会計は、監査人として今後二年間、ご協力いただくことになりました。

永年のご苦勞に對しまして深く感謝致します。

引き続き、平成三・四年度

の三役としては、
会長 為村収二郎

(福祉協議会会長)

副会長 福士 敦彦

(前副会長)

副会長 徳永 勉

(前書記長)

書記長 海野 正孝

(現防犯委員)

会計 佐藤 邦広

(昭和六十三年

度

以上敬称略)

が、選出されました。

従来にましての校区内各位

のご支援・ご協力をお願いします。

又、専門部会としては、次

の委員会を設置し、委員長・

委員として、それぞれの方に

課題の検討・実施を分担して

いただくことに四月の定例役

員会で決定しましたので、併

せてご支援・ご協力をお願い

します。

各委員会と委員長名は下記

のとおりです。(敬称略)

総務委員会 牛田 修司

近道対策委員会

(三丁南)

植田 政芳

(五丁)

体育委員会

名越 英治

(校区体育指導員)

ふるさと祭り実行委員会

齋木 昭正

(二丁)

環境対策委員会

田中 知彦

(一丁)

婦人委員会

富田わき子



風景 茶席 抹茶の 昨年

(五丁)

本年度も、倍旧のご支援とご協力を、重ねてお願いいたします。

ふるさと祭り

開催に向けて

本年度の赤坂台ふるさと祭りは、八月十日(土)、十一日(日)に開催することにしております。

昨年同様、より多くの地域住民の皆様に参加していただき、楽しいものとしたいと、企画・準備をすすめておりますが、昨年の『赤坂台の橋幸夫』歌謡ショーのような住民参加の企画申し出を期待しております。

昨年は、抹茶席を設営し、婦人委員会のバザーなど、新企画も実施しましたが、事前PRなどが不足したのではなにかとの反省から、事前PRにも務める計画です。

福社協議会構成団体紹介⑤

快走!イーグルス

校区福祉協議会構成団体のひとつ少年野球チーム「イーグルス」が快進撃中。昨年一〇月一〇日からなんと二二連勝。三月三十一日の関西団地少年野球選手権中央決勝大会（西宮厚生年金スポーツセンター球場）では、「山田池ファイターズ」（東大阪・奈良）に五対四で勝って初優勝しました。

五月二六日のスポーツ少年団大阪府大会決勝戦（茶山台小学校庭）では、「岸和田サウスジュニア」に二対七で勝って大阪府代表に。七月二八日から全国大会出場権を近畿二府四県代表間で競います。

野球部長奮戦記

甲子園騒動始まる

夕日 越英 弘治（藝名三十七二）

去る二月一日、勤務先「浪速高校」野球チームの第六十三回選抜高校野球大会出場が正式決定した瞬間から、予想もしなかった甲子園騒動が始まった。

物凄いまスコミ攻勢

何しろ創立六十七年目にし、て初出場、長く野球部長をしてきた私にとっても、総てが

まず驚かされたのは、二月一日から始まったマスコミ攻勢の物凄さであった。

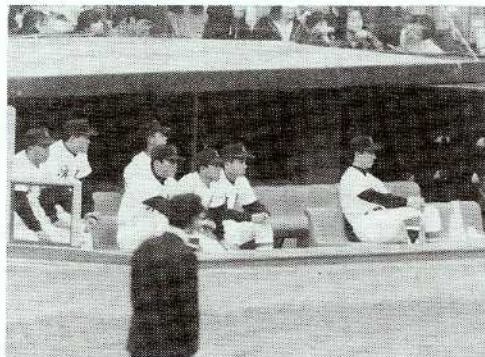
学校内での取材や撮影、監督・選手へのインタビュー、各新聞社やテレビ・ラジオ関係は言うに及ばず、地方紙やミニコミ紙からの取材と原稿依頼、アンケートの回答と返送など連日キリキリ舞い。長い部歴の掘り起こしからOBの動静まで、限られた期間内でまとめあげるのに四苦八苦の連続でもあった。

体力が勝負の二カ月間

学年末多忙時での募金活動や応援練習など、学校・同窓

会・PTAあげての協力には頭が下がる思いであった。

選手宿舍の手当、応援団五千人分のバス・電車の手配、入場券の確保まで、二カ月間は休みなしの毎日、体力が勝負の甲子園大会でもあった。



甲子園のベンチ風景

三月三十日、山梨県立市川高校と対戦、三対一で惜敗。やっと選抜の残務整理が終わったと思ったら、もう夏の予選が近ずき、慌ただしさはまだ半分続きそうである。



関西団地少年野球優勝

歯なしの長寿

生きていく限り「自分の健康な歯でいられたら」と、願わない人はいません。人生八十年時代、人間の寿命はすばらしく延びても残念ながら歯の寿命は昔と同じ、長寿社会は、歯なし時代が長いということ。

ていますが、六十歳では十六

本、七十歳では八本と急速に減っていき、八十歳以上になるとわずかか四本の歯しか残っていないのが現状です。

ゆっくり、しっかりと

歯の喪失イコール義歯（入れ歯）とお付き合いが始まる

然の歯に比べて約半分になると言われています。硬い物、繊維の多い食物は敬遠しがちでも「噛む」ということをしないと歯やアゴの筋肉はますます衰えていくことを忘れてはなりません。また「噛む」ことは脳の神経細胞の働きを活発にしますから、ボケ防止にも役立っています。

義歯（入れ歯）で噛んで

ボケ防止



活発にしますから、ボケ防止にも役立っています。

吉村 栄一

一

食事の時間がかかって、家族の人はせかせさず、義歯をつけてゆっくり、しっかりと噛んで食べることを応援してあげたいものです。

笑顔ばんたい

お年寄りには歯の手入れを面倒がることもないようです。

総義歯は、手入れしないとひどい悪臭のモトになります。

たが、四十歳頃からは歯槽膿漏（しそうのうろう）などの歯周病と呼ばれる歯ぐきの病気で歯を失う人が増えています。成人の歯は二十八本で、親知らずを含めると三十二本になります。しかし、厚生省の調査（一九八七年）によると、五十歳の人は平均で二十三本の歯が残っ

義歯になると噛む力は、天

半身が不自由なお年寄りでも

自分で歯ブラシをもって磨く訓練をすると、リハビリにも役立ちます。

清潔な義歯でおいしい物が食べられてこそ笑顔もわき、生きる希望もわいてきます。

お年寄りの笑顔のモトは「まず歯から」と言えそうです。

（赤坂台医療センター

「吉村歯科」院長）

複写機の

利用案内

本会を構成する各団体は、左の要領でコピー機を利用できます（私用はお断わり）。

①設置場所は保育園。

②利用時間

午前10時～午後4時（土曜日は正午まで）、ただし

午前11時半から一時間昼休み、日祝は不可。事前に

事務局に電話すること。

③利用料は一枚七円。

今年の堺市社会福祉大会は

六月二七日（木）に堺市総合福祉会館で開催、赤坂台校区福祉協議会から佐藤祐弘副会長が出席しました。

第一部式典では、市民憲章朗読、会長挨拶、来賓祝辞。表彰に移り、赤坂台校区は「年末助けあい運動」に永年にわたり協力した功績で堺市社会福祉協議会長より感謝状を受けました。

堺市社会福祉大会

赤坂台校区に感謝状

第二部は記念講演「福祉社会をめざして」、講師は日本福祉大学助教授沢田正芳氏。デンマークの「その人の自立

に必要とすることで、自分

できないことを、自分にできるように最大限援助すること

生児童委員、更生保護婦人会女性団体連絡協議会などのバザーや母子福祉会の作品展などが賑やかに催されました。

雲仙岳被災にお見舞いも

アペイトよりサイクル寄付金

赤坂台マーケット「アペイト」では、空カン・空ビン・スチロールなどの回収リサイクルを行っています。その収益金四万七九二六円（一月〜六月分）を校区福祉協議会にご寄付いただきました。うち二万円は、寄付者のご意向で、長崎県雲仙岳の火山災害見舞金に拠出させていただきました。

「ほのぼのの会」へ寄付

校区連合子ども会は、去る三月二一日（春分の日）に行

った創立一五周年記念運動会の残金一万二五二三円を、ボランティアグループ「ほのぼのの会」の活動資金へ寄付されました。

編集余話

★雲仙岳怒る！山麓で少年時代をおくった私には他人ごとでなく、地元のくらしが心配です。★六月定例総会を機に副会長中辻雅郎さんと理事河原悦子さんが退任お申し出、中辻さんは連合自治会長三期五年の激務が終わったので本業に専念したい由、河原さんは校区外へ転居、事情やむをえず、長い間ほんとうにご苦労さまでした。★代わって海野正孝さんと渡辺あやめさんが新任、二人とも為村会長と同じ五丁の住人、よろしく。★「ハロー」で知ったと『ほのぼのの会』へ新入会三名、ようこそ。これで総勢二一名。★総会の席上で泉北警察署から、空き巣とチカンの出没にご用心との警告。桃源境赤坂台も浮き世の風から逃れられないのでしょうか。（M）